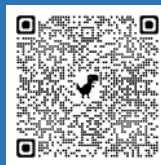


よいや～の風について



学校だよりの
以前の号
はこちら



——令和7年12月12日(金) No.22——校長 東原 宏章——

「醸成」

12月5日(金)、全児童が体育館に集まって人権集会を行いました。人権集会の目的は以下のとおりです。

- 自分を大切にできる心情を育てるとともに、相手の気持ちや立場を十分に理解し、友だちを大切にできる態度を養う。
- 人権意識を向上させ、「差別しない・させない・許さない」心を育てるとともに、生命を尊重する態度を養う。

年に一度の人権集会で、児童の人権意識が目に見えて向上するわけではありませんが、この集会を毎年繰り返すことと、この集会に向けた継続的な活動に取り組むことが肝要かと思われます。

話は変わりますが、長崎で生まれ育った者の多くが、大人になっても「8月9日」「11時2分」の日時とともに、反戦・平和を願う心を持っていると見聞きします。

私もその一人ですが、大人になって他県で「8月9日」を過ごしたときに、11時2分のサイレンもなければ、街角で立ち止まって黙とうする人もいないことに驚いたことがあります。残念な気持ちになりました。と同時に、長崎で生まれ育った自分は、知らず知らずのうちに「平和を愛する心」を育ててもらっていたのだなあと感じかされたのでした。

人権教育も平和教育と似たところがあって、少しずつ少しずつ「醸成」していくものなのでしょう。

さて、今回の人権集会に向けた継続的な取組は以下の二つです。

その1——道徳の時間や学年集会、心の時間などで、人権集会の目的に関わるような活動に取り組む。

その2——人権集会に向けて、各学年での取組を行う。

☆各学年で「なかよし宣言」を考える

☆各学年で「ありがとうの木」を作成する

高城台小学校 なかよし宣言

- 1年 にこにこえがお みんななかよし 1年生
- 2年 えがおいっぱい いっしょにあそぼう 2年生
- 3年 けんかなく みんななかよくすごします
- 4年 なかよく 協力 支え合い 友情のハーモニー
- 5年 考えよう 自分の気持ちと相手の気持ち
- 6年 接してみると きっとみつける 人のよさ

「ありがとうの木」6年_友達や先生方に感謝の気持ちを伝えます。

